

## 2nd Negative Strand Virus–Japan Symposium

Okinawa / 2013.1.14 (Mon) – 1.16 (Wed)

### Program

#### Monday / January 14

• 15:00–15:10 Opening Remarks / 河岡 義裕 (東京大学医科学研究所)

#### ●疫学 I ● (座長: 笛吹 達史 / 鳥取大学)

• 15:10–15:25

「フィロウィルス感染の血清疫学調査-1」

高田 礼人 (北海道大学)

• 15:25–15:40

「エジプトにおける H5N1 高病原性鳥インフルエンザウイルス HA 遺伝子の変異解析」

渡邊 洋平 (大阪大学微生物病研究所)

• 15:40–15:55

「エジプトにおけるヒト型レセプター結合性高病原性 H5N1 およびヒト型レセプター結合性変異を監視するデバイスの開発」

鈴木 康夫 (中部大学)

• 15:55–16:05 Coffee Break

#### ●計算科学● (座長: 中屋 隆明 / 京都府立医科大学)

• 16:05–16:20

「高精度第一原理計算を用いた新規インフルエンザウイルス NA 阻害剤に関する理論的研究」

常盤 広明 (立教大学)

• 16:20–16:35

「計算科学的手法を用いたインフルエンザウイルス HA と抗体との相互作用解析」

五十嵐 学 (北海道大学)

•16:35-16:50

「Unraveling Properties of Host-Pathogen Interactions using Genetic and Proteomic Networks」  
Tiago J.S. Lopes (JST ERATO)

•16:50-17:00 Coffee Break

●ウイルス因子 I ● (座長:安田 二郎/長崎大学熱帯医学研究所)

•17:00-17:15

「ラッサウイルスの細胞内増殖機構の解析」  
野田 岳志 (東京大学医科学研究所)

•17:15-17:30

「感染細胞におけるエボラウイルスタンパク質および RNA 細胞内動態の時空間的解析」  
南保 明日香 (北海道大学大学院)

•17:30-17:45

「H3N8 亜型インフルエンザウイルス NS1 の SUMO 化と機能解析」  
五来 武郎 (東京大学医科学研究所)

•17:45-18:00

「インフルエンザウイルス RNP 輸送/集合に関与する NP アミノ酸変異の同定」  
川上 英良 (JST ERATO)

•18:00-18:15

「狂犬病ウイルスの末梢感染機序に関する研究」  
伊藤 直人 (岐阜大学)

•18:30 合同懇談会(羽衣西の間)

Tuesday / January 15

●新規手法とその応用●（座長：岩附 研子／東京大学医科学研究所）

・9:30-9:45

「新規抗インフルエンザ薬に対する耐性ウイルス検出系の構築」

高下 恵美（国立感染症研究所）

・9:45-10:00

「半生インフルエンザワクチンを基盤とした二価ワクチンの開発」

浦木 隆太（東京大学医科学研究所）

・10:00-10:15

「インフルエンザ中和抗体発現プラスミドを用いた受動免疫法の開発」

山崎 達也（東京大学医科学研究所）

・10:15-10:25

「糖鎖プローブを用いたインフルエンザウイルスの受容体結合性の高感度検出系の確立」

川上 達矢（静岡県立大学大学院）

・10:25-10:40

「新規組織染色用基質によるインフルエンザウイルスのシアリダーゼ活性の蛍光染色」

高橋 忠伸（静岡県立大学）

・10:40-10:50 Coffee Break

●ポスター発表●

・10:50-10:52

「インフルエンザウイルスの感染に関与する TMPRSS2 の調製」

佐藤 亮（北海道大学）

・10:52-10:54

「in silico スクリーニングによる麻疹ウイルス H タンパク質の侵入阻害化合物の探索」

東端 将哲（北海道大学）

•10:54-10:56

「結晶構造解析に向けた狂犬病ウイルスの G 蛋白質の調製」

青木 亨丞 (北海道大学)

•10:56-10:58

「第一原理計算および MD シミュレーションを用いた梅エキス抽出フラン誘導体のインフルエンザ NA 阻害作用に対する理論的研究」

石坪 江梨花 (立教大学)

•10:58-11:00

「インフルエンザウイルスタンパク質 PB2 と相互作用する宿主因子のウイルス増殖における役割」

野中 尚輝 (東京大学医科学研究所)

•11:00-11:02

「B 型インフルエンザウイルスのゲノムパッケージング機構の解明」

中津 寿実保 (東京大学医科学研究所)

•11:02-11:04

「ハムスターにおけるインフルエンザウイルス飛沫伝播モデルの確立」

市古 有里絵 (東京大学医科学研究所)

•11:04-11:06

「電子顕微鏡による犬ジステンパーウイルス膜融合タンパク質の構造」

武田 森 (北海道大学大学院)

•11:06-11:08

「A 型インフルエンザウイルスゲノム由来の新規スプライシング産物の同定」

渡邊 真里子 (東京大学医科学研究所)

•11:08-11:10

「ヒトパラインフルエンザウイルス表面抗原 HN を搭載した半生インフルエンザワクチンの開発」

小林 博文 (東京大学医科学研究所)

•11:10-11:12

「H5N1 高病原性鳥インフルエンザウイルスのヒトへの適応に関与するアミノ酸変異の同定」

山地 玲奈 (東京大学医科学研究所)

•11:12-11:14

「インフルエンザウイルス M2 蛋白質と相互作用する宿主因子の同定と機能解析」

桑原 朋子 (東京大学医科学研究所)

•11:14-11:16

「Nuclear distribution geneC はインフルエンザウイルス増殖過程に關与する」

石井 嵩 (東京大学医科学研究所)

•11:16-11:18

「DNA Topoisomerase1 はエボラウイルスゲノムの転写・複製に關与する」

高橋 慧 (東京大学医科学研究所)

•11:18-11:20

「H5N1 亜型高病原性鳥インフルエンザウイルス感染におけるウズラの病態とサイトカイン応答」

宇野 有紀子 (鳥取大学)

•11:20-11:22

「ハザラウイルス増殖抑制に關わる細胞性因子」

黒崎 陽平 (長崎大学熱帯医学研究所)

•11:22-11:24

「(-) 鎖 RNA ウイルスの新規ウイルス RNA 合成制御機構」

坂口 剛正 (広島大学大学院)

•11:24-11:26

「膜貫通領域を置換した CM2 をもつ C 型インフルエンザウイルスの解析」

村木 靖 (金沢医科大学)

●ポスター閲覧●

•12:30-14:00 Lunch

●宿主因子●（座長:渡邊 真治/JST ERATO）

・14:00-14:15

「宿主細胞による核内ウイルス RNP の認識機構の解明」

本田 知之(京都大学ウイルス研究所)

・14:15-14:25

「A型インフルエンザウイルス感染によるムチン型糖転移酵素 GALNT3 の発現制御機序と意義の解析」

中村 祥子(京都大学ウイルス研究所)

・14:25-14:40

「宿主エキソジャンクションコンプレックス形成因子 MAGOH はインフルエンザウイルス vRNP 核外輸送に関与する」

富田 有里子(JST ERATO)

・14:40-14:55

「呼吸器感染症ウイルス増殖における TMPRSS2 の役割ならびに膜融合タンパク P3 位保存グルタミンの重要性について」

竹田 誠(国立感染症研究所)

・14:55-15:05 Coffee Break

●ウイルス因子II●（座長:藤井 豊/川崎医科大学）

・15:05-15:20

「C 蛋白質欠損センダイウイルスの急激な欠損復帰メカニズム」

吉田 明日香(広島大学大学院)

・15:20-15:35

「センダイウイルス株間の極端なインターフェロン誘導性の違い」

入江 崇(広島大学大学院)

・15:35-15:50

「インフルエンザ A ウイルス粒子内への RNP 取込み機構の解析」

杉田 征彦(東京大学医科学研究所)

•15:50-16:05

「インフルエンザウイルス粒子内にパッケージングされる RNA の解析」

村上 晋(東京大学医科学研究所)

•16:05-16:15 Coffee Break

●疫学II● (座長:岡松 正敏/北海道大学大学院)

•16:15-16:30

「H5N1 亜型高病原性鳥インフルエンザウイルスのサギ科鳥類に対する病原性と伝播能の解析」

曾田 公輔(鳥取大学)

•16:30-16:45

「豚における抗インフルエンザウイルス抗体の保有状況」

小澤 真(鹿児島大学)

•16:45-17:00

「インフルエンザワクチン株の卵馴化による 2012/13 シーズンワクチンの効果におよぼす影響および  
ブタ由来 A/H3N2 variant (v) ウイルスに対する邦人の抗体保有状況」

小田切 孝人(国立感染症研究所)

•17:00-17:10 Coffee Break

●侵入● (座長:山吉 誠也/東京大学医科学研究所)

•17:10-17:25

「犬ジステンパーウイルスの霊長類レセプターの利用について」

酒井 宏治(国立感染症研究所)

•17:25-17:40

「ニワトリのインフルエンザウイルスはニワトリ気管上皮に発現するフコシル化  $\alpha$  2,3 シアル酸糖鎖を  
レセプターとして認識する」

日尾野 隆大(北海道大学大学院)

・17:40-17:55

「鳥インフルエンザウイルスがブタに感染すると SA $\alpha$ 2,6Gal レセプターを認識するウイルスが選択される」

七戸 新太郎 (北海道大学大学院)

・17:55-18:10

「鳥インフルエンザウイルスのヒト呼吸器上皮細胞に対する感染様式の検討」

大道寺 智 (京都府立医科大学)

・18:30 合同懇談会(和琉ダイニングあんのん)



**Wednesday / January 16**

●特別講演●（座長：朝長 啓造／京都大学ウイルス研究所）

・9:30-9:45

河岡 義裕(東京大学医科学研究所)

・9:45-10:00

北野 宏明(JST ERATO)

・10:00-10:10 Coffee Break

●宿主応答●（座長：福山 聡／JST ERATO）

・10:10-10:25

「Proteomics of mouse lungs infected by different pathotypes of H5N1 influenza virus」  
Dongming Zhao (JST ERATO)

・10:25-10:40

「インフルエンザウイルス性肺炎による炎症の収束段階に寄与する分子機構の解析」  
桂 廣亮(東京大学医科学研究所)

・10:40-10:55

「ミトコンドリア膜電位依存的な NLRP3 inflammasome の活性化」  
一戸 猛志(東京大学医科学研究所)

・10:55-11:05 Coffee Break & 投票

・11:30-11:40 受賞者発表 & Closing Remarks／河岡 義裕(東京大学医科学研究所)